

学校と地域の
つながり新聞

小中一貫校 引佐北部小中学校 (浜松市)

コミスクだより

地域みんなの想いととも… 令和3年11月 vol.10



引佐北部小中学校
開校10周年記念誌特別委員会
委員のみなさん



10年分の学校だよりから
厳選して制作します！

夏目正次さん (田沢在住) 伊藤八右さん (浜川在住) 西本有一さん (久留女木在住)

News!

引佐北部小中学校 開校10周年記念誌発行！

2012年4月に静岡県下初の公立小中一貫校として誕生した引佐北部小中学校。開校当時、国際コミュニケーション科やふるさと科といった特色ある教育が県内外から大いに注目されました。あれから10年という年月が流れる中で、119人の子どもたちが巣立ち、すでに初期の卒業生は立派な社会人として活躍されています。そこで、来年4月に開校10周年を迎えるにあたり、学校で特別委員会を設け、『引佐北部小中学校開校10周年記念誌』が発行されることとなりました。記念誌では、在校生はもちろん、これまでの卒業生も写真で登場していただく予定です。また、この記念誌を地域の皆さんとの共同作業で作りたいという思いから、特別委員会では、現在、記念誌のサブタイトルを募集しています。少子化の波に揉まれながらも、「地域の学校」として奮闘してきた引佐北部小中学校の10年間を象徴する素敵なサブタイトルを学校までお寄せください。

記念誌
サブタイトル
募集中！

応募要項

(1) サブタイトル案(いくつでも可)、(2) お名前、(3) ご連絡先を明記の上、E-mailもしくはFAXにて、下記までお送りください。

お送り先

引佐北部小中学校開校10周年記念誌特別委員会 事務局(担当: 山下)
E-mail/inasahokubu-ej@city.hamamatsu-szo.ed.jp FAX/053-528-3132

募集締切

2021年
12月末日

きりやま販売報告/みさとパビリオン
卒業生の今をご紹介します/いい声かけデー

夏休みの学習支援/読み聞かせボラ募集
第3回・第4回 学校運営協議会開催

夏休みの学習支援活動



8月の夏休み期間中に8年生教室を開放し、学習支援委員会が中心となって7・9年生の生徒を対象に学習支援を実施しました。生徒さんたちはそれぞれ黙々と学習に取り組んだり、わからないことを質問したりしていました。実際に支援にあたった支援員の方からは「みなさん集中力があって、自主的に学習しているのを感じました。生徒さんの背中を押すという役目ができたら嬉しいです」という言葉も聞かれ、生徒さんに寄り添って対応してくださっているのがわかりました。

読み聞かせボランティア募集！



図書館開放委員会が、11月6日(土)のみさとパビリオンのメイン会場となった体育館で、学校図書館に入った大人向け図書紹介と読み聞かせボランティア募集を呼びかけるパネル展示を行いました。

感染症対策で地域の方にご参加いただくことはできませんでしたが、保護者の皆さんに学校図書館の利用と読み聞かせボランティアの参加を呼び掛けました。

第3回 学校運営協議会を開催しました

9月15日には旧久留女木幼稚園で、10月20日には引佐北部小中学校で学校運営協議会が開催されました。協議会の中では、1学期の学校評価アンケートの結果についてや、地域の力や学校教育に生かしていくかなどの熟議が行われました。



10/20 開催
(引佐北部小中学校)

9/15 開催
(旧久留女木幼稚園)

旧久留女木小学校 校舎
(開催は旧久留女木幼稚園)

旧久留女木幼稚園でも開催しました！

☆☆☆☆☆☆☆☆ 引佐北部小中学校、引佐北部みさと幼稚園のブログもぜひご覧ください ☆☆☆☆☆☆☆☆

引佐北部
小中学校



引佐北部小中学校のフレッシュな情報を発信中！



引佐北部
みさと幼稚園



併設する引佐北部みさと幼稚園の日々を発信中！



『コミスクだより』第10号/令和3年11月30日

発行: 引佐北部小中学校 学校運営協議会 発行人: 引佐北部小中学校 学校運営協議会 会長(夏目稔三)

編集: 引佐北部小中学校 学校運営協議会 広報委員会(編集: 井上紗由美/小林成彦/廣瀬稔也、制作: 加藤隆康)

〒431-2533 静岡県浜松市北区引佐町四方浄134-6 TEL 053-528-3131 E-mail inasahokubu-ej@city.hamamatsu-szo.ed.jp

引佐北部小中学校
キャラクター
「きりやまさん君」



卒業生の今を
ご紹介♪

卒業生は「今」…

卒業生紹介
#6

なつみ
和出捺美さん
(都留文科大学3年)

Natsumi
Wade



【写真左・中央】教育実習期間は4年生のクラスを担当。一人ひとりに寄り添う姿が印象的でした。
【写真右】引佐北部小中学校での一番の思い出は運動会！曲や踊りなどすべて自分たちで考え、夏休み中も猛練習したそうです。

和出さんに聞いた「引佐北部小中学校のいいところ」

「“ありがとう”や“ごめんね”が自然に出てくる優しい子が多いと思います。
小中一貫校なので、中学生が小学生をまとめることが多く、小学生が中学生にあこがれる
環境があるんですね。憧れの存在や目指す人の姿が同じ環境にあるのはいいことだと思います。」

9月6日から10月1日までの約1か月間、卒業生の和出捺美さんが、教育実習生として母校を訪れました。久留女木出身の和出さんは、同級生が3人という久留女木小学校時代に複式学級を経験。4年生のときに3校（渋川小・久留女木小・田沢小）合同、6年生の時に小中一貫校になり同級生は10人に。学校統合の変遷をすべて体験している貴重な世代です。

久しぶりに地元に戻ってきて、「昔から自分を知っていて応援してくれ
る地域の人たちの温かさを感じた」という和出さん。現在は教員免許取得に向けて勉強中で、いずれは浜松に戻りたいという希望を持っています。

和出さんのこれからを引き続き応援していきたいですね！

健全育成会

「ひとりひとりにいい声掛けデー」



浜松では、市と教育委員会、そして青少年健全育成会連絡協議会の呼びかけで、毎年11月11日を全市統一の「ひとりひとりにいい声掛けデー」として、声掛け活動を実施しています。

引佐北部小中学校でも青少年健全育成会が中心となって、地域のみなさんに多数ご参加いただき、登校する児童・生徒たちに元気な声で「おはようございます！」「いつてらっしゃい！」と声かけをしていただきました。

模擬会社
きりやま

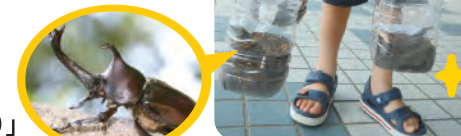
「ベル21」での初めての販売活動取材しました！



会場で初めて引佐北部小中学校の活動を見た！という地域外の方のお声

「生徒さんが準備の成果を出そうと一生懸命取り組んでいるのを感じ、学校への興味が湧きました。
(市内在住・引佐地域へ移住希望のファミリー)」

「新聞に掲載されているのを見て、カブトムシを目的に訪れました。
子どもがとても喜んでいてよかったです（市内在住ファミリー）」



7月17日、細江にあるショッピングセンターベル21で、7・9年生による模擬会社きりやまの販売活動が行われました。当日は一時行列ができるほどの人出となり、盛況のうちに終了しました。今回は学校や地域のことを伝えるパンフレットを作るなど、生徒さんたちも地域外への発信を意識して取り組んでいました。この活動を通して、改めて引佐北部地域や学校の良さを見直すいい機会になったのではないかと思います。

みさとパビリオン 地域の未来を生徒と大人がディスカッション

「引佐地区のより良い未来とは」をメインテーマとする「ふるさと科」での学びの中間発表会として、「みさとパビリオン」が11月6日（土）に開催されました。

「地域のより良い未来」をつくる方策として9年生が考えた「いなほくシティーベンチプロジェクト」について、生徒代表3人と自治会代表、学校支援コーディネーター、校長の大人3人がステージで語り合いました。ベンチを設置することで住民の交流を生み出そうという9年生の提案に対して、「地域を歩いている人が少ない現状をどう考えるか」（自治会代表）、「海外産の木材のキットを買うのではなく、地元の木材と地域の力を活用してはどうか」（学校支援コーディネーター）、「卒業後のメンテナンスをどう考えるか」（校長）といった意見が出されました。

9年生からは、ベンチの設置をきっかけとして散歩する人を増やしていきたい、指摘された点についてはさらに検討をすすめていきたいとの回答がありました。



9年生の地域を大切に作る真摯な思いが、下級生はもちろん大人たちにもしっかりと伝わってきました。